

事業報告書

申請団体名	NPO法人沖縄NGOセンター
事業名	うるま市から世界に元気と感謝を！～繋ごううるま市と世界のウチナーネットワーク～
対象期間	令和2年9月10日 ～ 令和3年2月28日
事業の内容	うるま市から世界を元気に！～繋ごう、うるま市民と世界のウチナーネットワーク～をテーマに海外のウチナーンチュ向けにオンラインイベントを2回実施（2022年10月21日・2022年11月11日）し、活動の広がりのためシェアブックを作成する。
参加者数	93 人
参加者の反応	参加者からは「ありがとう。手話をしているのを見て感動します。」、「ありがとうございます。とても感動的です。私の祖母はうるま市（具志川市）出身です。」等、パフォーマンスを披露した高校生への感謝の言葉や自身のルーツに改めて想いを馳せるコメントが目立ち、好反応であったことが伺えた。
具体的な成果・課題	成果 今回、オンラインで世界中にパフォーマンスを届けるという、我々もうるま市の高校生たちも未体験のイベントで、接続等のトラブルの不安もある中での開催となったが、結果として画面越しでも高校生たちがパフォーマンスに乗せた想いを参加者の皆様に伝えることができたのは大きな成果であったと言える。また、高校生たちのコメントにも参加者への感謝を述べるコメントが多々見られたことからコロナ禍で県人会活動ができていない世界のウチナーンチュに「沖縄を届ける」という本来のミッションの達成に加え、オンラインで地球の裏側にいる方とコミュニケーションを取り、パフォーマンスを送るという行為そのものが、高校生たちの国際的視野を拡大し、また相互扶助の意識を更に高めるという副次効果をもたらした。
	課題 今回はパフォーマンスを中心としたイベントであり、その内容も充実した。しかしその分、高校生と参加者とのコミュニケーションの時間があまり設けられなかったことが今回の課題と言える。第一回でのそのような反省を踏まえ、第二回ではチャット機能を活用して気軽なコメントを促した結果、第一回と比較して多くのやり取りが見られた。しかし、またチャット機能の範疇であるため、今後高校生と参加者が画面越しでよりやり取りができるような工夫をしたい。
将来に向けた展望・課題	展望 本事業は新型コロナウイルスの影響で県人会活動が困難となっている世界のウチナーンチュに沖縄を届けるという趣旨であり、国際協力及び国際交流の面において良好な結果をもたらした。またそのような経験を高校生が経験することで青年期のはじめの段階での広い視野の獲得と相互扶助の意識の発展が期待される。今後は本来の目的達成に加え、コミュニケーションを中心とした新たなコンテンツを組み合わせ、学習効果の向上を目指したい。
	課題 パフォーマンスや前後の挨拶のみでなく、高校生と参加者との画面越しでのコミュニケーションの時間を更に設けることで、双方の距離を近づけ、より会の盛り上がりを目指すと共に、高校生の学習効果を向上させる。

写真（補助事業の状況）

